

愛知医療学院短期大学 出前授業

# 「パラリンピック教育」報道資料

「実施高校」愛知県立 新川高等学校



発行所 中日新聞社  
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号  
〒460-8511 電話 052(201)8811

2015年(平成27年)  
9月4日(金)

## 伊藤選手ら出前授業

### 新川高 障害者スポーツ理解

二〇一〇年の東京五学院短大(清須市)が輪・パラリンピックを初めて企画。この短大前に、障害者スポーツの教授で、北京やロンを理解してもらう出前授業が三日、清須市阿原の新川高校であった。一年の女子生徒百三十九人が、現役選手らからパラリンピックの魅力を学んだ。

リハビリテーション教育が専門の愛知医療



伊藤選手(手前左)と新川高の生徒たちと一緒にラリーを楽しむ。伊藤選手は清須市の新川高で

師を務めた。伊藤さんは生後間もなく右脚が不自由になり、幼いころから義足を使って生活。思春期には体育の授業から遠ざかることもあったが、大学生のときにバドミントンを始めたことを紹介した。「打ち込めることに出会い、人生が変わった。東京パラリンピックでは、韓国・仁川で負けた」と話していた。(福本英司)

相手に勝って金メダルを取りたい」と語った。生徒と伊藤さんはミニゲームで交流。一年の植松美有さん(さ)は「伊藤選手のラリーはきらきら光って見えた。障害者やパラリンピックが身近に感じられた」と話していた。(福本英司)



## 障害者スポーツ 理解深めよう

障害者スポーツについて理解を深めてもらおうと、愛知医療学院短大（清須市）が3日、現役選手や医療スタッフによる出前授業を新川高校で行った。文部科学省の有識者会議が、小中高校の学習指導要領に「パラリンピック教育」を盛り込む中間報告を公表したことを受けたもので、県内で初めて開催した。

授業では、2020年東京パラリンピック出場を目指すバドミントンの伊藤則子選手（39）が、自身の障害や競技につい

### 医療短大、新川高で出前授業

て話した。「障害を理由に好きな男の子にふられたこともある。いやなことばかりと思われがちだが、色んな人に助けをもらい、今は障害も個性の一つだと思っています」などと、実体験を交えた話に生徒らが聴き入った。

伊藤選手とラリーをした女子バドミントン部1年の服部千佳さん（15）は「すごく強かった。障害があっても前向きで、自分もうまくなりたいと思った」と話した。同短大は今後も県内外で出前授業を続けていくという。

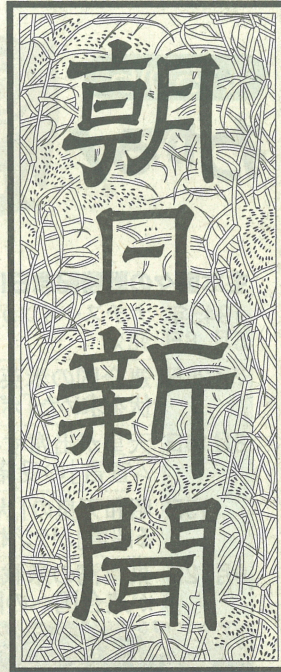


義足を取り外して、競技について語る伊藤則子選手。清須市の新川高校

2015年（平成27年）

9月4日  
金曜日

天気	6	9	12	15	18	21(時)
名古屋	☁	☀	☀	☀	☀	☀ 10 ☀ 21 ☀ 29 ☀ 22
豊橋	☁	☀	☀	☀	☀	☀ 10 ☀ 21 ☀ 29 ☀ 22
岐阜	☁	☀	☀	☀	☀	☀ 10 ☀ 21 ☀ 28 ☀ 18 ☀ 30 ☀ 22
高山	☁	☀	☀	☀	☀	☀ 10 ☀ 18 ☀ 30 ☀ 22
津	☀	☀	☀	☀	☀	☀ 10 ☀ 29 ☀ 22
尾鷲	☀	☀	☀	☀	☀	☀ 20 ☀ 21 ☀ 31 ☀ 23
浜松	☁	☀	☀	☀	☀	☀ 20 ☀ 23 ☀ 31 ☀ 22
東京	☁	☀	☀	☀	☀	☀ 50 ☀ 21 ☀ 31 ☀ 22
大阪	☁	☀	☀	☀	☀	☀ 10 ☀ 29 ☀ 22



愛知医療学院短期大学 出前授業

「パラリンピック教育」報道資料  
「実施高校」愛知県立 新川高等学校



愛知医療学院短期大学 出前授業

# 「パラリンピック教育」報道資料

「実施高校」愛知県立 新川高等学校



## 新毎日

9月4日(金)

2015年(平成27年)

発行所：名古屋市中村区名駅4-7-1

〒450-8651 電話(052)527-8000

毎日新聞中部本社

名古屋市中区正木2-3-1 〒460-8351

電話(052)324- 報道1101 事業1936  
販売1105 広告1931

毎日新聞名古屋本部

### 障害者スポーツに理解を



生徒たちの前で、バドミントンの実技を披露する伊藤則子選手。清須市の新川高で

清須・新川高で  
1年生139人講座

東京パラリンピック

2020年東京パラリンピックに向け、障害者スポーツへ理解を深めてもらおうと、愛知医療学院短大による特別講座が3日、清須市の新川高で開かれ、1年生139人が学んだ。

鳥居昭久・同短大教授と、東京パラリンピックにバドミントンで

出場を目指す伊藤則子選手(39)が指導に当たった。鳥居教授は障害者の気持ちに立って考えることをアドバイス。生まれつき右脚が悪く義足で生活する伊藤選手は、大学4年の時に出会ったバドミントンが生きがいになったと話した。東京パラリンピックに向け「金メダルを取りたい」と意気込みを語った。この後、バドミントン部の生徒が伊藤選手に挑戦。伊藤選手の素早い動きに歓声が上がった。対戦した丹羽詩夏さん(16)は「楽しかった。伊藤さんの頑張りを見て、私も練習を頑張りたい」と話した。同短大では、理解を深めてもらうため、出前講義を実施していくという。【河部修志】